

一 般 質 問

令和 4 年 3 月 8 日
第 1 回 広尾町 議会 定例会

通告 順序	議席 番号	質 問 者
1	1	松 田 健 司
2	1 0	小 田 雅 二
3	9	渡 辺 富久馬
4	1 1	旗 手 恵 子
5	4	前 崎 茂

通告順序1 質問者：松田 健司

1. 町営キャンプ場について

昨年3月11日に行われた「予算審査特別委員会」において、「キャンプ場は、青少年健全育成のための施設であり来場者の推移からも一定程度の役割は終えたとの判断をしており、その上で、今後のキャンプ場をまちづくりの中でどのような活かし方をするのかを含め、1年間の猶予が欲しい」との答弁からほぼ1年が経った。

この1年間の議論の内容と取組の推移、そしてキャンプ場の継続の有無を伺う。

2. 子供への新型コロナワクチン接種について

令和4年3月から、5歳から11歳の子供へのワクチン接種が進められようとしているが、小児科医の不足による副反応への対応や接種の分量が大人用と異なる事による打ち間違いの防止、また、情報不足による不安の解消に向けた取組に対する対応を伺う。

通告順序2 質問者：小田 雅二

1. 町における新型コロナウイルス感染症の後遺症及び副反応の実態について

接種回数が多くなるにつれ、その後遺症やワクチンの副反応に苦しむ人が増えると思われる。

町としての適切な対応が求められると思うが。

また、子供の接種に関しても既に副反応による報告もある様だが町としては。

また、同調圧力の問題について、町として十分な配慮を各事業所等に要請しているか。

2. 町のホームページについて

各自治体がホームページやその他のSNSで宣伝やメッセージを積極的に発信している。

様々な連絡やお知らせ等が主なものであるが、例えば「町長室」というコラムに関しては、町長交際費をお知らせするばかりの様に見えるが、本来的には行政的報告や町としてのいろんな事柄に関しての町長の考え方を明示してもらいたい事が必要と考えるが。

通告順序 3 質問者：渡辺 富久馬

1. 臨港道路十勝港線（通称：港湾道路）の壁画及び現存する石碑等の移設について

平成30（2018）年9月、第3回定例会で質問した港湾道路の壁画の汚れ、また移設が必要とされる旧広尾小学校の石碑外、数点の像につきその後、どのような協議や検討がされたか。

町長は質問に対し、「壁画の汚れの解消は財源確保が困難との見地から、当面は無理であり今後協議・検討を続ける」との答弁があったが、その後協議がなされたか。併せて、協力頂いた管内・管外の市町村、企業等に対し理解を求める行動を起こしているのか聞きたい。

また、町内にある記念碑や像の対処の質問に対し教育長は「費用の面からも関係者とも相談・検討したい」との答弁があった。その後一向に進展の話がないが、今どのような状況にあるのかお聞きする。

2. 道の駅の開設について

道の駅は、これまで何度も議会でもそじょうに上り、浮かんでは消え、浮かんでは消えの永遠のテーマとなっている。町長は、事あるごとに「建設する事は可能だが、それを運営・管理する態勢が整っていない」と答えている。しかし、造るという強い意志とリーダーシップで動きが始まると思う。町長の“道の駅”設置に対する本気度をお聞きしたい。

通告順序4 質問者：旗手 恵子

1. デジタル改革と個人情報保護の強化について

デジタル関連法は昨年5月に成立し、国や自治体等が保有する有用な情報をオープンデータとして整備、公表するとしている。

法案のねらいは、「特定の企業のもうけのために、地方自治体を持つ個人情報を利用することにある」と当時の平井デジタル担当大臣が発言している。

2020（令和2）年版「情報通信白書」によると企業などが提供するサービスを利用する際に個人データを提供することについて、8割が「不安を感じる」と答えている。

デジタル化の大前提は、政治の透明性と個人情報を適切に管理し、安心・安全を求める住民に信頼されることだが担保されるのか。

また、マイナンバーカードの普及率、そして、プライバシーや個人情報を守る最後の砦としての地方自治体の責任について伺う。

通告順序5 質問者：前崎 茂

1. PCB廃棄物の適正処理に係る支援体制を

ポリ塩化ビフェニル（PCB）は、油状で溶けにくく耐熱性、耐絶縁性、不燃性に優れ、工業的に多用されてきたところである。

しかし、PCBが混入した油を摂取した人々に肝臓、神経系、呼吸器系などに害を及ぼす中毒症状が出現した「カネミ油症事件」（1968年）により、1972年から製造、使用を全面的に禁止したところである。

政府は、2001（平成13）年に「PCB廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」を制定し、期限までPCB廃棄物を適正に処分することを定めている。

北海道の高濃度廃棄物の処理期限は、令和5年3月末となっており室蘭市の処理施設で処分しなければならない。処理費用は、30キログラム以下であれば約60万円、運送費用は数10万円の費用負担が生ずると言われている。費用の7割は、国の補助対象となるが個別で運送するより共同運送するほうが低価格でできると思料される。

関係機関と連携して、PCB廃棄物の適正処理の推進と共同運送により、軽減を図るべきでは。

また、小規模事業者等の負担軽減を図るため、一部負担金に助成を検討してはどうか。

2. 駅前パークゴルフ場の拡幅整備について

昨年12月に、鉄道記念公園の隣接地である民有地が本町に寄贈されたところである。寄贈された方には、深く感謝致すとともに有効活用することが極めて肝要である。

当該地は、防災公園建設候補地にも予定されているが、現鉄道記念公園パークゴルフ場は狭隘で一部コースは交差するところもあり、安心してプレーできないと拡幅が求められていたところである。このことから寄贈された土地の一部を拡幅造成して、利用者の方が安心してプレーできる環境整備を図る必要があると思うが。